

広報 立山

TATEYAMA TOWN PUBLIC RELATIONS MAGAZINE

広報たてやま

2017

1

No. 757



◎COVER

もちつき・クリスマス会
(高原保育園)

◎特集

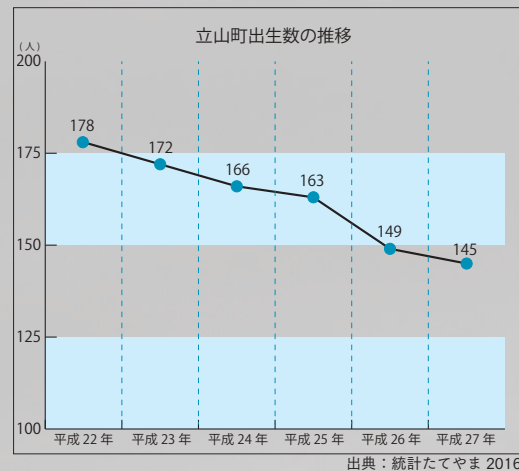
学生から見た立山町

インターカレッジコンペティション 2016

新春インタビュー

Q. 2016年を振り返って

A. 3月に高平公嗣県議会議員(当時)が逝去されたことが残念でした。町消防団長をはじめ、多くの町の要職を担っていただき、県政においても非常に重要な存在でした。立山町の大黒柱を失ったともいえます。また、坂井昭二元県議会議員も逝去されるなど、記憶に残る年になってしまいました。立山町においては、4月から新瀬戸小学校が休校となりました。わが町の出生数はここ数年、200人を大きく下回っています。これから結婚・出産が期待される24歳から29歳の女性の町民は、平均すると96人。つまり、仮に合計特殊出生率が2人になったとしても、出生数は200人にも届かない計算になります。



Q. 人口減対策が急務ですね。

A. はい。町の人口をこれ以上減らさないためには、進学で県外の大学や専門学校に行っても、卒業後は立山町に戻ってきてもらうことが肝心です。そこで、就職後、町民である限り最長10年間、奨学金などの返済額に対し、3割を町が支援する制度を創設します。財源には、ふるさと納税を充てます。

もちろん、この施策だけでは不十分です。立山町に親戚などがいなくても、町の魅力ある地域資源を活かしてこの地で働きたいという若者の移住を、推進していきます。

Q. ある地区からの要望や、町長への提案箱を通して子供から「大型ショッピングセンター(SC)やゲームセンターを誘致してほしい」という声があがっています。

一方で、「高齢のため車が運転できなくなるので、なんとかしてほしい」という切実な要望もあります。

A. 一般的に郊外に大型SCができたために、小規模な小売店舗が減少したと言われています。また、大型店舗立地の可否には、用地確保の問題があります。かつて国費で整備した農地を宅地に転用するためには、国との協議や県の許可を得る必要があります。そこには高いハードルがあります。

まずは、近隣店舗が閉店して本当に困っておられる高齢者のために、引き

続き行政としてやるべきことに取り組めます。その一環として、立山舟橋商工会が行う買い物代行サービスの継続や、食料品や生活用品などを積んだ軽トラックが近所までやってきて販売を行う「移動スーパー」の活動も支援していきます。

Q. 最後に立山町の将来像についてお願いします。

A. わが町では、過疎化対策として中山間地域の下水道(農業集落排水事業)を優先して整備してきました。この事業に係る、町債償還のピークが2018年度まで続きます。もちろん、平坦地の下水道整備はまだ完了していません。

さらに、団塊の世代の皆さんが後期高齢者となる頃から、医療や介護への財政負担はピークを迎えます。



特集

学生から見た立山町

インターカレッジ
コンペティション 2016



立山町インターカレッジコンペティション

目を迎えたこの取り組みは、大学生の専門的知識や柔軟な発想を取り入れ、町の活性化を図ろうと、開催されています。

過去に提案された優れたアイデアの中には、すでに実証実験として行われているものもあります。

今回参加したのは、全国9大学13チーム。8月から9月にかけて実際に立山町を訪れ、地域の特徴や課題を調査しました。その後それぞれが専攻する分野の視点をふまえ、町を活性化するための方法について考えました。

学生から見た立山町の課題とその対策。外部の若い世代が提案するアイデアは、地域創生の手がかかりになり得る可能性を秘めています。

この特集では、11月26日に行われた予選を勝ち抜き27日の本選に進んだ、上位7チームの発表の概要を紹介します。

最優秀賞

文化体験の町「立山」 山岳信仰と立山曼荼羅を巡る



明治大学
情報コミュニケーション学部
川島ゼミナール Aチーム



杉原 牙樹さん 小嶋 夏奈さん 坂田 夏美さん
(東京都出身) (神奈川県出身) (東京都出身)

文化体験の町へ

「都心からの交通費が高い」「宿泊施設が少ない」「町内の交通の便が悪い」。8月に行ったフィールドワークをとおして、立山町が抱える課題を感じた明治大学川島ゼミナールAチームの3人は、ターゲットを国内の有名観光地に詳しい日本人ではなく、外国人観光客に設定しました。

外国人留学生と一緒に立山町のフィールドワークを行い、外国人が一番喜ぶ瞬間は実際に日本文化を体験できた時だと実感した3人は、立山町を「文化体験の町」として外国人に発信し、外国人観光客をより多く取り込むアイデアを提案しました。

立山独自の文化を体験

3人は他観光地との差別化を図るため、強い文化色を感じた「立山山岳信仰」と「立山曼荼羅」に関する6種類の文化体験を提案。

立山町にしかない新たな付加価値を創出し、外国人観光客に足を運んでもらうねらいです。

①岩峯雄神社

・装束を着て、巫女舞・神事の体験
・神主の方から雄山神社の歴史や立山信仰について学ぶ

②芦峯雄山神社・ふるさと交流館

・白装束や編み笠を身にまとい、芦峯寺周辺・閻魔堂・布橋で修験道体験

・芦峯寺に古くから伝わる郷土料理を食し、立山ならではの食文化を学ぶ

③立山博物館

・立山曼荼羅や宿坊など、立山信仰全般について学ぶ

④陶農館

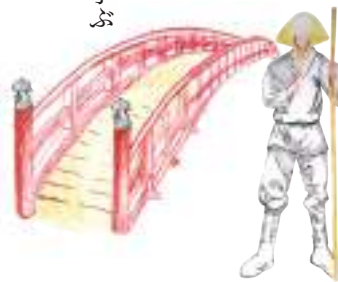
・越中瀬戸焼の製作体験
・陶芸家のアトリエ・窯の見学

⑤立山ひょうたん

・ひょうたんの絵付け体験

⑥遙望館

・立山信仰について映画で学ぶ
・布橋灌頂会の疑似体験



JSTA賞

愛彩たてやま
「立山、『食』の魅力

プロモーション」



桜美林大学
ビジネスマネジメント学群
渡邊ゼミ

立山町長特別賞

足から元気に！
足湯カフェ「休んでかれや」



立山町の「食」

「おいしい食べ物・料理を食べたい」観光客が富山県に来る時に一番多い理由です。(出所：Jic調査2007)

立山町により多くの観光客を呼ぶためには、食の充実が必要であると考えた桜美林大学渡邊ゼミ。

数ある食材や加工品の中から彼女たちが注目したのは、立山ブランドのひとつである「かんもち」でした。
もち米特有の香ばしい香りとサクサクとした歯ごたえが特徴のかんもち。天然色素によってカラフルに色付けられ、味だけでなく目で見て楽しむこともできるかんもちは、立山町が誇る「食」のひとつです。



5つのプロモーション戦略

かんもちの知名度についてアンケートを行った結果、ほとんどの人はかんもちについて知らないということが分かりました。

彼女たちはかんもちをもっと多くの人に知ってもらうため、5つのプロモーション戦略を提案しました。



英語表記でQRコード作成

学などに協力し、毎年1回更新する

立山町の「食」を日本や世界に広げていくことはもちろん、町全体が一体となつてかんもちの魅力を発信していくことで、地域住民の活性化も図ります。

交換留学プログラムを誘致

3人は立山町の国際化のきっかけとして、外国人留学生に注目しました。立山町が各大学に誘致を上げる前の足掛かりとして、初年度に明治大学と地域連携協定を結び、明治大学に短期交換留学しているベトナム人留学生たちを立山町へ誘致することが、川島ゼミナールの主提案です。

参加した留学生の意見を反映し、より観光客のニーズに合った内容にしていきます。また留学生にSNSで情報発信してもらうことで立山町の認知度を高め、山岳部だけでなく平野部の観光客増加を図ります。



昭和女子大学
人間社会学部福祉社会学科
渡辺ゼミ

全国の観光客から高い人気を誇る立山黒部アルペンルート。アルペンルート出発地の立山駅まで、多くの方が高速バスを利用されます。大阪・京都方面から高速バスを利用する場合、立山駅まで行こうとすると規定により、運転手が2人必要になります。しかし五百石駅を終点にすれば、運転手は1人で済み、必要経費が少なくなります。

そこで昭和女子大学渡辺ゼミは、電車に乗り換える五百石駅周辺に、観光客が電車の待ち時間を過ごす場所が少ないことに注目し、町商工交流館「休んでかれや」に足湯とカフェが隣接した「足湯カフェ」を作ることを提案しました。

立山町の特産品を豊富に用いたメニューや、音楽イベント、地元農家の新鮮な野菜を販売する「青空マルシェ」などを開催すること

優秀賞

きときと再生プログラムFINAL
～もうそろそろ未来のために時間とお金の投資をしませんか？～

跡見学園女子大学村上ゼミは、昨年先輩たちが提案した「部活、ゼミ等の合宿誘致」を発展させてテーマに設定しました。

現在休校中の「新瀬戸小学校」を新たな合宿施設として設立。



跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部
観光デザイン学科 村上ゼミ

食事は町内事業所、入浴は当面の間グリーンパーク吉峰を活用し、経営が安定した時に増築するという提案でした。施設の再利用推進や、利用者が小学校の懐かしい雰囲気を感じられる点を強みとした発表でした。

獨協大学米山ゼミAチームはまず、立山町の活性化を図るため、2015年から文化庁が認定している「日本遺産」に、立山信仰を登録することを提案しました。日本遺産への登録で注目度を高め、観光客増加につなげる



獨協大学 経済学部
国際環境経済学科 米山ゼミ Aチーム

ことがねらいです。それに伴い、立山信仰に関連する名所を巡ることができるコースと地図の作成や、かつて立山で男性によって行われていた「禪定登山」の復活などによって、町の活性化を図るという発表でした。

今、ココに生きる立山信仰
～立山の魅力再発見の旅～

輪 ne Day in たてやま
～昼の清閑 夜の囁き～

立教大学羽生ゼミは、「町全体に人通りが少なく、魅力を感じるものが少ない」という立山町の弱点を逆手にとり、昼はサイクリングを楽しみ、夜は星空の下で、ゲル*1を活用したグランピング*2を行う取り組みを提案しました。

立教大学 観光学部観光学科 羽生ゼミ

※1：モンゴル遊牧民の移動式住居
※2：グラマラス (glamorous) とキャンピング (camping) をかけあわせた造語



立教大学 観光学部観光学科 羽生ゼミ

休んでかれやに寄ってかれや

近畿大学高橋一夫ゼミ立山2班は、観光客が五百石を訪れず、そのままアルペンルートまで行ってしまう「観光客の素通り問題」に注目。五百石駅で観光客が立ち寄る拠点に、「休んでかれや」を設定しました。

近畿大学 経営学部商学科
高橋一夫ゼミ 立山2班

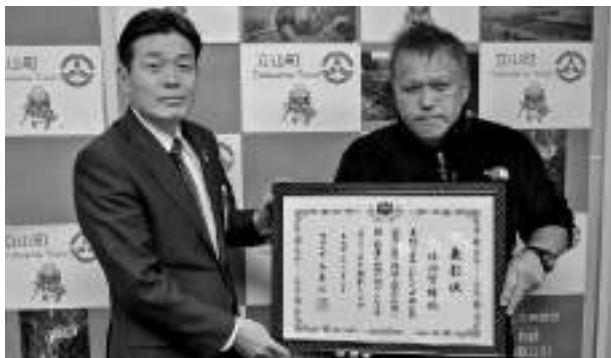
「休んでかれや」の新たな魅力をつくるため、インテリアや照明の一新、店内広告の変更などをはじめとした内装のリノベーションや、立山ブランドのひとつである「立山シフォン」の積極的な提供などを提案しました。



佐伯賢輔さんが自然公園関係 功労者環境大臣表彰

自然公園の保護とその適正な利用に関し、顕著な功績があったとして、11月に三重県で行われた表彰式にて佐伯賢輔さん（芦峯寺）が、自然公園関係功労者環境大臣表彰を受賞されました。

佐伯さんは、中部山岳国立公園（天狗平周辺）において、登山道の草刈りや案内表示の設置、定期的な外来植物の除去、美化清掃活動など、利用者の適正な指導と健全な自然環境の維持増進などに尽力されました。



「若宮集落の環境を保全する会」 が富山県農村文化賞受賞

「若宮集落の環境を保全する会」が、第65回富山県農村文化賞を受賞しました。

同会は平成19年度に設立。女性や子どもが中心となって行う農道への花の植栽や、農道の路肩に全長3.5キロメートルにわたるカバープランツを設置する活動を行ってきました。また、平成26年度には「草刈隊」と呼ばれる組織を結成し、積極的に農道・水路の草刈活動を行うなど、地域の景観保全と農家の負担軽減に貢献してこられました。



↑舟崎副町長に受賞を報告する松倉代表（右）と若宮集落の方々

町初農業女子に沖縄出身の玉榮さん

女性の視点で町農業の活性化に努める「農業女子」に、沖縄県出身の玉榮明奈さんが採用され、12月1日に委嘱状が手渡されました。

人口減少と高齢化で不足する農業の後継者を確保するため、以前から町では就農希望者を「農業女子」として募集しており、この度、玉榮さんが立山町第一号の農業女子となりました。今後は自立に向けて町の支援を受けながら、東谷地区の特産品「ラ・フランス」をはじめとした果樹・野菜を栽培し、新たな加工品の開発や、SNSによる活動状況の情報発信なども行っていく予定です。



↑舟橋町長から委嘱状を受け取る玉榮さん

ぬのばしかんじょう え 布橋灌頂会の観覧席整備

芦峯寺の布橋付近に新たに整備された、「布橋灌頂会」観覧席の完成を祝う安全祈願祭が、12月4日に行われました。

布橋灌頂会は、立山が女人禁制だった江戸時代に、極楽往生を願う女性の救済のために行われていた儀式で、現在は3年に1度行われています。県内外から大勢の方が訪れるため、故高平公嗣県議会議員を中心に、以前から富山県に観覧席の設置を要望していました。9月下旬の開催に向け、安全な運営や伝統の継承を誓いました。



野澤明さん（大窪）が叙勲受章

野澤明さん（大窪）が危険業務従事者叙勲瑞宝双光章（警察功労）を受章されました。41年間にわたって主に刑事事件を担当し、暴力団対策などに尽力されました。

野澤さんは「長年支えてくれた妻への章だと思っています」と話されました。



防火防災の広報車が交付

日本消防協会から町消防団に、防火・防災の啓発などに活用する広報車が交付されました。

交付された広報車は7人乗りのワゴン車で、前バンパー内部に放送用スピーカーが組み込まれています。



下段分団に新消防ポンプ自動車配備

町消防団下段分団に新しい消防ポンプ自動車が納入され、11月27日に下段公民館で入魂式が行われました。

平成7年度に配備された旧車両の老朽化に伴い、緊急防災・減災事業債（起債）を活用し購入された新車両は、毎分2300リットルの放水が可能で、乗員は10人です。

式の後、消防団員による記念放水が行われました。



民生委員・児童委員に委嘱状

12月1日、みらいぶで民生委員・児童委員および主任児童委員の全国一斉改選に伴う委嘱状伝達式が行われ、委員78人に委嘱状が手渡されました。

民生委員は、住民の生活や福祉に関する身近な相談相手で、地域と行政をつなぐ役割などを担う任期3年の特別職の地方公務員です。また、子どもの見守りや子育て支援を行う児童委員を兼ねています。

同日開催された理事会では、会長には酒井孝さん（米道）、副会長には石田裕紀子さん（日俣）、蔵林誠さん（末上野）が選出されました。

また、退任された42人に感謝状が贈られました。



↑舟橋町長から委嘱状を受け取る酒井会長

大森分団の新詰所が完成

立山町消防団大森分団の新しい詰所が完成し、12月4日に竣工式が行われました。

昭和58年度に建設された旧詰所の老朽化に伴い、緊急防災・減災事業債（起債）を活用し整備。場所は旧詰所と同じく大森公民館前に新築され、建物の広さは約2倍になりました。

竣工式では田村保町消防団長と、北村章大森分団長、舟橋町長らが、旧詰所から引き継がれた看板を入口に掛け、防火への気持ちを新たにしていました。



11/19 利田小学校 学習参観で郷土芸能の発表 地域で受け継がれていく伝統

利田地区に古くから伝わる郷土芸能を学んだ利田小学校の3年生が、その成果を学習参観で発表しました。

総合的な学習の一環で郷土芸能について学んだ3年生は、「正調利田荷方節」、「常願寺あばれ太鼓」、「盆踊り」の3つのグループに分かれ、地域の方から指導を受けながら、本番に向けて練習してきました。

正調利田荷方節は船頭や荷方労働者によってはじめられたといわれ、昭和40年に保存会が設立。現在は保存会が地元の行事や福祉施設などで披露する形で継承されており、今回の発表のように児童が舞と唄の両方に取り組むのは初めてのことです。

発表は、優雅な舞と唄による正調利田荷方節に始まり、次にねじり鉢巻き姿の児童らによる盆踊りが披露されました。最後は、統率のとれた力強い常願寺あばれ太鼓が演奏され、観客からは大きな拍手が送られていました。

児童らの堂々とした発表を観た正調利田荷方節保存会の寺松弘義会長は、「緊張している様子だったが、練習の成果がだせたようで良かった。普段から伝統に触れる機会を増やし、より多くの人に知ってもらえれば嬉しい」と話しました。



1



2



3

- 1_ 舞と唄で表現する
「正調利田荷方節」
- 2_ 迫力あふれる
「常願寺あばれ太鼓」
- 3_ 輪を作って楽しく踊る
「盆踊り」

12/9 「休んでかれや」 イルミネーション点灯式 色鮮やかな光 商店街照らす

町商工交流館「休んでかれや」前で、イルミネーション点灯式が行われました。式では、立山舟橋商工会の吉川毅一会長代行があいさつし、亀山県議会議員、舟橋町長らがともにボタンを押すと、約2万個のLED電球が点灯し、夜の五百石商店街を色鮮やかに照らしました。

サンタクロースや雪の結晶など様々な形の電球があり、お正月やバレンタインデーにはそれぞれの時期にあわせたデザインに変更する予定です。

点灯時間は16時半から20時まで。2月14日まで毎日楽しむことができます。



11/19 町民会館でボランティアまつり 豊富な体験とおして理解深める

町ボランティア連絡協議会と町社会福祉協議会、町善意銀行が主催する「ボランティアまつり&映画上映会」が町民会館で行われました。

シーツの交換や新聞紙で作るスリッパなど、各種団体による様々なボランティア活動体験のほか、越中家漫飲^{まんきん}丹氏^{たん}による防災をテーマにした落語など多彩な催しが開催され、多くの人でにぎわいました。

大ホールでは「風の会」や「手話サークルすぎのこ」などが、オカリナ演奏や手話コーラスなどを披露し、映画上映会では、吉行和子さん主演の『人生、いろいろ』が上映されました。



↑「陽だまりグループ」によるシーツ交換の体験をする参加者

11/23 芦峯寺地内各所で芦峯ごっつお祭 芦峯寺の郷土料理と文化に触れる

芦峯寺の伝統的な郷土料理や文化に直接触れることができる「芦峯ごっつお祭」が、芦峯寺地内各所で行われました。

立山・芦峯ふるさと交流館では、地元の女性たちが中心となり、「つぼ煮」や「やきつけ」など多彩な料理を販売。素朴で優しい味わいに来場者は舌鼓を打ちました。

地域おこし協力隊の松田好弘さんによる芦峯観光ツアーも開催され、参加した川村さん夫妻（石川県）は、「閻魔堂などは知っているだけで、具体的なことは知らなかった。参加して理解が深まりました」と話しました。



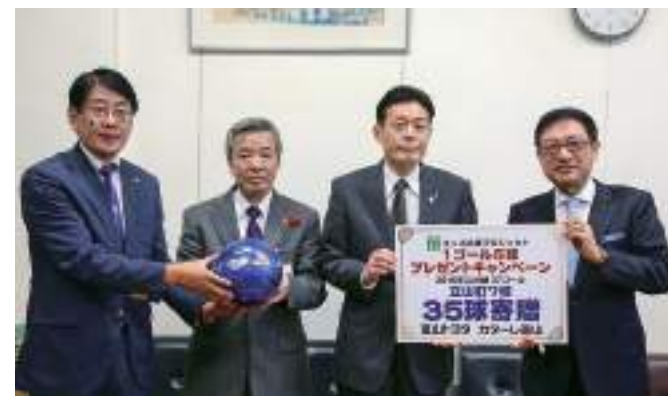
↑美味しい郷土料理を囲みながら、交流を深めました

12/5 1ゴール5球プレゼントキャンペーン 町小学校7校にサッカーボール寄贈

カターレ富山と富山トヨタ自動車が協力して行う「1ゴール5球プレゼントキャンペーン」の贈呈式が、教育長室で行われました。

4年目を迎えるこの取り組みは、子どもたちの健全育成や地域社会の発展を目的に、カターレ富山の公式戦1ゴールにつき5球のサッカーボールを県内小学校に寄贈するものです。

今年度は立山町のほかに射水市、魚津市、黒部市に前年度の繰り越し分も含めた205球が寄贈され、立山町には7校35球が贈られました。



↑左から酒井社長（カターレ富山）、大岩教育長、舟橋町長、品川社長（富山トヨタ自動車）

11/20 元気交流ステーションで東谷農産物フェア 新鮮な野菜や果物求めてにぎわう

東谷地区の農産物や加工品を集めた「東谷農産物フェア」が元気交流ステーション1階イベント広場で行われました。

会場では特産のラ・フランスや豊作のユズをはじめ、新商品のドライフルーツや、ブルーベリージャムなどの加工品も販売。先着200名に、東谷のくま笹で巻いた笹餅の配布も行われました。

そのほか東谷産新米おにぎりや、里山汁を味わうことができる「里山ミニ食堂」も設けられ、大勢の方が新鮮な秋の実りを求めて足を運びました。



↑開始数分で売り切れるほどの人気商品もあり、大盛況の会場

12/4 ファミリーサポート協力・利用会員の交流会 親睦深めて事業の促進を

立山子育て支援センターは、会員制のファミリーサポート事業の利用促進を図るため、町民会館で協力・利用会員相互の交流会を開催しました。

子どもを一時的に預けたい利用会員の求めに協力会員が応じる本事業は、平成27年度から開始し、現在協力会員54人、利用会員45人の計99人が登録されています。この日は35人が参加し、地区ごとに分かれて自己紹介やファミリーサポート事業を利用した体験談などを共有しました。その後マジックショーを楽しみながら親睦を深め、利用の促進を図りました。



健診・検診のご案内

1月1日から2月10日までの日程です。
これは、個人通知書に代わるものです。
☎保健センター ☎ 463-0618

成人保健

- ・がん検診の通知は74歳以下の方にしていますが、通知のない方でも受診できます。ご希望の方は申し込みください。
- ・検診結果の一部は町にも返送されます。これは健康管理業務のためであり、他の目的で使用することはありません。

実施日	受付時間	場所	備考
大腸がん検診	1月10日(火) 2月10日(金)	8:30 ~ 9:30	保健センター

【注意事項】
▶大腸がん検診には容器が必要です。検診日5日前までに保健センターでお受け取りください。
▶大腸がん検診は無料です。
▶検診結果は1か月後に個人通知されます。

保健だより

☎保健センター
☎ 463-0618

はたちの献血キャンペーン ～二十歳の君がつなげる命～

献血者が減少しがちな冬期において、安全な血液製剤を安定的に確保するため、新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心として、献血に関する理解と協力を求めるとともに、特に成分献血、400mL献血の継続的な推進をめざしています。ぜひ、この機会に心あたたまる献血のご協力をお願いします。



特定健診を受診された方へ

今年度の健診結果により、生活習慣の改善が必要な方に「脂肪燃焼スタートコース」「脂肪燃焼しっかりコース」のご案内をしています。

高血圧・脂質異常・糖尿病（生活習慣病）などを予防することを目的に、保健師・管理栄養士が生活習慣改善のお手伝いをするプログラムです。自覚症状のない方はあまり必要性を感じないかもしれませんが、生活習慣病を発症させないために、是非ご参加ください。
※対象者には個別に詳細をお知らせしております。参加ご希望の方は、保健センターまでご連絡ください。

生活習慣の改善ができる今がチャンスです！



母子保健

場所：保健センター（みらいぶ3階）
持ち物：母子健康手帳、フッ素塗布希望者は歯ブラシ・タオル

実施日	受付時間	対象者
1歳6か月健診	1月12日(木) 2月9日(木)	13:00 ~ 13:30 平成27年7月生まれ 平成27年8月生まれ
むし歯予防教室	1月18日(水)	平成27年1月生まれ 13:00 ~ 13:20 3・4回目の方 13:30 ~ 14:00 フッ素塗布3・4回目の方
3歳児健診	1月19日(木)	13:00 ~ 13:30 平成25年9月生まれ
4か月健診	1月24日(火)	13:00 ~ 13:30 平成28年9月生まれ
すくすく健診	2月1日(水)	13:00 ~ 13:30 平成28年5・6月生まれ ※母乳相談の方は要予約

1月のウォーキング日程

各地区でウォーキング交流会を開催しています。町内在住の方ならどなたでも参加できます。運動しやすい服装・靴を着用の上、タオルや水分をご用意ください。

開催日	受付時間	集合場所
1月23日(月)	9時半～10時	大森公民館
1月26日(木)	9時半～10時	新川公民館

年長児・小学6年生の皆さんへ ～定期予防接種の受け忘れはありませんか～

下記の定期予防接種について、今年度対象者の方へすでにご案内していますが、受け忘れはありませんか。接種期限を過ぎると、接種費用の助成が受けられません。母子健康手帳を確認の上、未接種の場合は早めに受けましょう。

予防接種	望ましい接種年齢	接種期限
麻しん風しん混合(MR)2期	年長児 (H22.4.2~H23.4.1生)	平成29年 3月31日
二種混合 (ジフテリア・破傷風)	小学6年生 (H16.4.2~H17.4.1生)	13歳の誕生日 の2日前

1月の子育て支援情報

☎健康福祉課児童福祉係
☎ 462-9955

町内各施設で、未就園児とその保護者を対象に施設を開放しています。また、イベント時には子育ての悩み相談などの支援も行っています。
※青色の日付は要予約

子育て支援センター	施設開放日	イベント情報
のびのびひろば (みどりの森保育園)	平日 8時～11時 13時～15時	12日(木)、19日(木)、 26日(木)
どんぐりひろば (あおぞら保育園)	平日 10時～15時	4日(水)、11日(水)、 20日(金)、25日(水)
はるかぜひろば (かがやき保育園)	平日 10時～15時	5日(木)、12日(木)、 19日(木)、26日(木)
ニコニコサークル (高原保育園)	平日 8時～11時 13時～15時	17日(火)、21日(土)、 24日(火)、31日(火)
まちなか 子育て支援室 (みらいぶ内)	火・水・金曜日 10時～12時 13時～16時	27日(金) みらいぶ☆きつず 「管理栄養士が教える 離乳食のすすめ」
にじいろ	年中無休 10時～17時	毎週火・水・金曜日 (1月4日・6日は イベントを行います)

子育て広場	イベント情報
岩崎保育所	にこにこ広場：19日(木)
釜ヶ淵保育所	たんぼぼ広場：11日(水)
下段保育所	にこにこ広場：18日(水)
日中上野保育所	すくすく・すこやか広場：10日(火)
むつみこども園	にこにこキッズルーム：13日(金)、27日(金)

※12月29日～1月3日は全施設休館します

介護保険Q&A

☎中新川広域行政事務組合介護保険課
☎ 464-1316

Q1. 今度65歳になりますが、介護保険の保険証をもらう手続きをしなければなりませんか？

A1. お手続きは不要です。65歳になる月の翌月中旬に、納付書やご案内文書などと一緒に中新川広域行政事務組合より送付します。

Q2. 年金をもらっているのに介護保険料の納付書が来たのですがどうしてですか？

A2. 年金から天引きされるのは、65歳以上で、老齢（退職）年金、遺族年金、障害年金を年額18万円以上受給されている方となります。

ただし、65歳になったばかりの方や、他市町村から転入された方などは、すぐには年金の天引きができないため、しばらくの間納付書での支払いをお願いします。

ひとこと介護予防

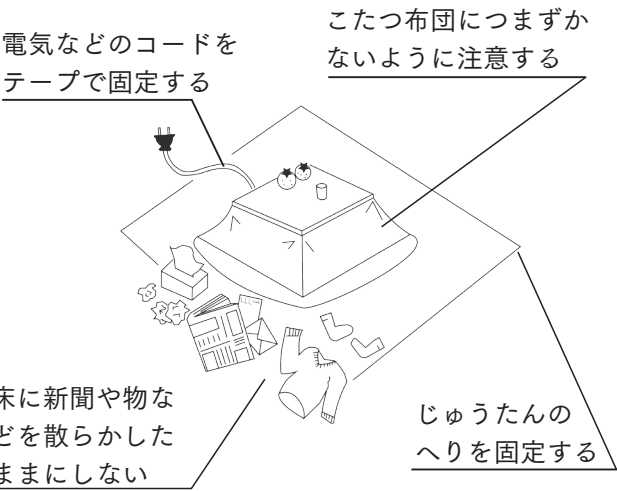
☎町地域包括支援センター
☎ 462-9088

家のつくりを見直して危険を減らそう

住み慣れた自宅は安全だと思いがちですが、脚が衰えていると、わずか1～2cmの段差でもつまずくようになります。

転倒は要介護状態となる原因のひとつです。事故の起きやすいところを把握して、自宅内で起きる転倒やけがを予防しましょう。

■すぐにできる！つまずかない工夫！



床に新聞や物などを散らかしたままにしない

じゅうたんのへりを固定する

Q3. 国民健康保険でも介護保険料を納めているはずなのに、また納付書がきました。二重に支払っているのではないですか？

A3. 国民健康保険税では65歳未満（40歳～64歳）の方の介護保険料を、医療費分と合算して徴収しています。ただし、世帯で年度途中で65歳以上になる方がいる場合には、その方の分は65歳になる月の前月分までの介護保険料分だけを合算していますので、二重納付にはなりません。

65歳になる月から年度末までの分の介護保険料は、別に計算して、納付書を送付しています。

■1月の保険料（65歳以上の方）

- ▶特別徴収／ありません
- ▶普通徴収／第7期（1月31日(火)納付期限）

募集

役場臨時職員を募集

職種 土木作業員（道路補修等）
募集人数 若干名
年齢 応相談（60歳以上可）
勤務時間 平日／8時半～17時
雇用期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日まで
申込方法 履歴登録カードに必要事項を記入の上、左記へ提出
申込期限 1月20日（金）
■建設課土木施設維持係
☎462・9978

立山かがやき教室のスタッフを募集

町教育委員会では、立山小学校で実施している放課後子ども教室（立山かがやき教室）のスタッフを募集しています。
勤務内容 子どもたちの安全を見守りながら、宿題などの活動と一緒にいきます
対象者 子どもとふれあうことが好きな方（年齢・資格は問いません）
募集人数 若干名
勤務時間 平日／14時半～16時
勤務場所 立山小学校内
謝金 925円／1時間（源泉徴収あり）

町教育課生涯学習係
☎462・9982

町営住宅入居者を募集

募集期間 1月4日（水）～11日（水）
【町営住宅】
▽釜ヶ淵町営住宅（2LDK・3LDK） 3室
▽下米沢町営住宅（3DK） 1室
【特定公共賃貸住宅】
▽釜ヶ淵住宅5号棟（3LDK） 2室
※特定公共賃貸住宅は、高校生以下の子を養育する世帯を対象に、家賃を20％値引きします。
※応募多数の場合は抽選です。
※入居要件や家賃等については建設課窓口、町ホームページでご確認ください。
■建設課建築住宅係
☎462・9975

たてやま町民カレッジ特別講座の受講生募集

■『スノーシューIN吉峰』
ポールを使うことで全身を使うノルデックウォーキングの講習を行います。講習後には、スノーシューを履いて雪の中を散策します。
日時 1月17日（火） 10時～12時
場所 グリーンパーク吉峰

定員 15人（申込順）
参加費 500円
持参物 雨具、運動靴、タオル
■教育課生涯学習係
☎462・9982

お知らせ

「立山学」公開講座実施
「立山学」とは、立山の歴史や信仰、自然環境などについて学ぶ講座で、昨年行われた立山町インターカレッジコンペティション2015で、最優秀賞に輝いた、跡見学園女子大学の提案を実証事業として行っているものです。
どなたでも参加できる公開講座を実施します。
内容 ①立山の温泉に関する講話②立山かんじきに関する講話・スノーシュー体験
日時 1月14日（土） ①10時15分～11時45分②13時～15時半
場所 グリーンパーク吉峰
講師 山崎まゆみ（温泉エッセイスト）／佐伯知彦（山岳ガイド・四代目佐伯平蔵）
参加費 無料
※ただし、スノーシュー体験を希望される場合は1500円
■グリーンパーク吉峰（渉外部）
☎483・4201

消防出初め式

日時 1月7日（土） 9時
場所 町民会館大研修室及び駐車場
※会場設営のため、6日（金）18時から式終了まで、町民会館前駐車場は利用できません。
■消防署消防防係
☎463・0005

とやま鍋自慢大会2017

冬の立山に「富山のジビエ」猪鍋をはじめ、熟々の鍋料理が勢ぞろいします。特産品販売コーナーやそり山、雄山高校吹奏楽部と立山町吹奏楽団による演奏会、和太鼓演奏など、ご家族で楽しめるイベントが満載です。
開催期間中は、役場から無料のシャトルバスを運行しますので、ぜひご利用ください。
日時 1月28日（土）、29日（日） 各日10時～14時
場所 グリーンパーク吉峰
■グリーンパーク吉峰
☎483・2828

危険物取扱者保安講習

日時 2月7日（火） 午前／一般 午後／給油取扱所
2月8日（水） 午前／一般 午後／一般
場所 富山市消防局
受付期間 1月10日（火）～19日（木）
※講習時間は3時間です。
※講習は高岡市でも行います。
問い合わせ・申し込み先
■消防署安全係
☎463・0005

障害者控除対象者認定書の交付

要介護2以上の認定を受けている方のうち、一定の要件を満たす方は、障害者手帳がなくても障害者控除が受けられます。詳しくはお問い合わせください。
手続きに必要なもの 介護保険証、印かん（シャチハタ不可）
認定された方には、「障害者控除対象者認定書」を交付します。なお、障害者手帳をお持ちの方や非課税世帯の方は、申請の必要はありません。
■健康福祉課障害福祉係
☎462・9957

「リフレしんせと」で里山暮らしの体験を

里山暮らし体験施設「リフレしんせと」では、気軽に暮らし体験ができます。
1泊目 1480円／人
2泊目以降 1080円／人
どなたでも利用できますので、希望者の方がいらっしゃいましたら是非ご紹介ください。
なお受付時に陶農館での陶芸体験を申し込むと、利用者特典として、特別料金（地元の土を使った手ひねり体験コース・1800円→1500円）で利用することができます。
■陶株式会社たてやま（陶農館）
☎462・3929



火の元にはご注意ください

本格的な冬の到来に伴い、石油ストーブなど暖房器具のお手入れは万全でしょうか。暖房器具は燃えやすいものから離れた

位置で使用するよう心がけてください。
また、住宅火災により死に至った原因のひとつが『逃げ遅れ』です。火災の発生を知らせてくれる住宅用火災警報器をご家庭に設置してください。
■消防署予防係
☎463・0005

ひきこもりなどの家族相談

ひきこもりのお子さんを支えているご家族の気持ちが楽になるよう、臨床心理士がサポートします。秘密は守りますので安心してご相談ください。
内容 ①家族相談（座談会）お子さんを支えているご家族のサポート②個別相談（希望者のみ）
日時 1月26日（木） ①14時～15時半②15時半～17時
場所 県中部厚生センター
■県中部厚生センター地域保健班
☎472・0637

青少年育成関係事業にかかる助成金を交付

青少年育成に関係するイベント（スポーツ大会やクリスマス・イベントなど）を開催する団体に、助成金を交付しています。

役場延長窓口

月曜日は税務課と住民課窓口を18時半まで延長しています。
■1月の延長窓口実施日
16日、23日、30日
▽税務課／町税などの収納、町税に関する税証明の交付
▽住民課／戸籍謄抄本・住民票・印鑑登録証明書の交付、印鑑登録、医療費に関すること
■「叙勲・表彰」（8p）
竹田幸悦さんの受章内容に誤りがありました。
誤 旭日小綾章
正 瑞宝双光章

広報「たてやま」12月号の訂正とお詫び

国民年金日より

■平成29年4月より、国民年金保険料の現金・クレジットカード納付による2年前納が始まります！
平成29年4月より、口座振替に加えて現金・クレジットカード納付についても、割引額の大きな2年前納をご利用いただけるようになります。
▶現金（納付書）による前納
任意の月から翌年度末までの前納が可能になります。（最大で4月分から翌々年3月分までの2年分の前納が可能です）
▶クレジットカードによる前納
新たに2年前納が可能になります。
現在の口座振替による2年前納と同じく、4月分から翌々年3月分までの保険料を4月末に納付いただきます。
※現金・クレジットカードによる2年前納の申出の受付開始は平成29年1月を予定しております。
■魚津年金事務所 ☎0765・24・1494
■住民課住民係 ☎462・9962

源泉徴収票は大切に

平成28年中に厚生年金保険、国民年金等の老齢または退職を支給事由とする年金を受給した方へ「平成28年分公的年金等の源泉徴収票」が日本年金機構から送付されます。
この源泉徴収票は平成28年中に支払われた年金額、年金から差し引かれた所得税額や介護保険料額などをお知らせするもので、所得税および復興特別所得税の確定申告を行う際に必要になりますので大切に保管してください。
※障害年金や遺族年金は、非課税のため源泉徴収票は発行されません。
■魚津年金事務所 ☎0765・24・5153
■ねんきんダイヤル ☎0570・05・1165

13

広報たてやま 2017.1

広報たてやま 2017.1

12

本格的な冬が来る前に水道のチェックを

 中新川広域行政事務組合（公共下水道・特定環境保全公共下水道）
  464-1315
 水道課水道管理係
  462-9960

■冬季上下水道料金の納付について

積雪期間（12～2月）は水道検針を行いません。1月～3月請求分の上下水道料金は基本料金のみ（※冬期定額申請をされている方は一定水量に基づく料金）を請求し、超過使用分は4月に精算します。

■消雪に水道を使用する時は

水道のみ使用のご家庭の上下水道料金は水道メーターの指針を基に請求しています。そのため、消雪に水道を使用すると下水道料金も増額となるため、使用する際はご注意ください。

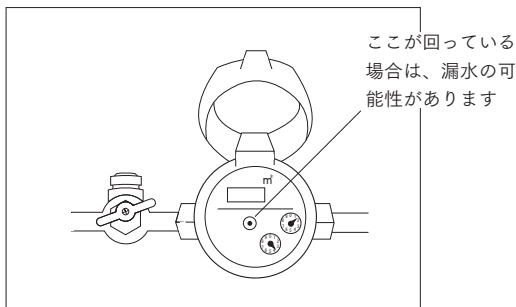
■水道管にも冬じたくを

防寒の不完全な水道管は、凍ったり破裂したりすることがあります。水道管を凍結から守るため、保温材や古毛布などで保温してください。特に蛇口は凍結しやすいのでご注意ください。

■漏水の確認方法

宅内の蛇口を全て閉め、水道メーター（量水器）ボックス内の水道メーターのふたを開け、中の銀色のコマをご確認ください。ゆっくりでもコマが回っている場合は漏水している可能性があります。その場合は、町給水指定工事店で修理をお願いします。

※宅内や水道メーター周辺の漏水にかかる修理費用及び水道使用料金は自己負担となります。



量水器のふたを開けた状態

町の人口（12月1日現在）

人口 26,592 人 （－164）
 男性 12,724 人 （－56）
 女性 13,868 人 （－108）
 （出生 15 人・転入 62 人）
 （死亡 30 人・転出 36 人）

世帯数 9,355 世帯（＋55）

1～11月の町内犯罪発生状況

件数 95 件 （＋21）
※（ ）内は前年同月比

編集後記

10月から担当した広報たてやまでしたが、あっという間の3か月でした。初めての一眼レフや取材に戸惑うことばかりでしたが、いろいろな方の支えのおかげで無事年を越すことができました。今後も町内の様々な場所に顔を出す予定ですので、2017年もどうぞよろしくお願いいたします。

佐伯 将乗



1月の各種相談日

	相談日	時間	相談会場 問い合わせ先
年金相談	10日(火)	10時～12時 13時～15時 ※受付は14時半まで	町民会館 （  0765-24-5153）
消費生活相談	毎週(月)・(水)・(金)	9時～16時	消費生活相談所 （役場1階住民課横）  462-9915
在宅介護相談	毎週(月)～(金)	10時～16時	
心配ごと相談	毎週(木)	13時半～15時半	
であ 出逢い 援相 談 (要 予約)	毎週(木)	13時半～15時半	立山町社会福祉協議会 （元気交流ステーション3階）  463-5856
	5日(木)、19日(木) 14日(土)、28日(土)	18時～20時 10時～12時	
法律相談 （要予約）	12日(木)	13時半～15時半	
行政相談	12日(木)	13時半～15時半	
生活・就労相談	18日(火)	10時～11時半	

税のかわらばん

■1月の納税（納期限：1月31日(火)）

▷町・県民税（4期）

▷国民健康保険税（普通徴収7期）

▷後期高齢者医療保険料（普通徴収7期）

 税務課収納管理係
  462・9951

■償却資産の申告は1月31日(火)まで

町内に事業用の償却資産をお持ちの方に対し、申告書を送付しました。平成29年1月1日現在の状況を記入し、**1月31日(火)**までに提出してください。

今回初めて申告される方には申告書を送付しますので、下記までご連絡ください。

また、地方税ポータルシステム（エルタックス）を利用しての手続きも可能です。詳細な説明については、ホームページをご覧ください。

エルタックスホームページ：<http://www.eltax.jp/>

 税務課資産税係
  462・9953

■住民税及び所得税還付申告の受付

2月1日(水)より、住民税及び所得税還付申告の受付を開始します。

相談時間 平日／9時～12時、13時～15時

場所 役場3階第3会議室

※所得税の納付が発生する申告の相談については、確定申告時期（2月16日～3月15日）に、受付します。

※2月13日(月)は税理士による確定申告書作成のための相談会（下記参照）のみ受付します。

 税務課住民税係
  462・9952

確定申告書作成のための相談会

税理士による確定申告書作成のための相談会を行います。

期日 2月13日(月)

時間 受付／8時半～14時半

相談／10時～12時、13時～15時半

※相談開始は10時です。

■申告書等の提出の際には、マイナンバーの記載＋本人確認書類の提示又は写しの添付が必要です。

▷**マイナンバーカード（個人番号カード）**

をお持ちの方

マイナンバーカードだけで本人確認が可能です。ご自宅などからe-Taxで送信すれば、本人確認書類の提示又は写しの提出が不要です。

▷**マイナンバーカード（個人番号カード）**

をお持ちでない方

①【番号確認書類】と②【本人確認書類】が必要です。

①【番号確認書類】

- ・マイナンバー通知カード
- ・住民票の写し又は住民票記載事項証明書（マイナンバーの記載があるものに限る）などのうちいずれか1つ

②【本人確認書類】

- ・運転免許証
- ・公的医療保険の被保険者証
- ・パスポート
- ・身体障害者手帳
- ・年金手帳
- ・在留カード

などのうちいずれか1つ

 税務課住民税係
  462・9952

■インターネットで申告書作成

国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」で、申告書を簡単に作成できます。

申告書は、ご自宅のプリンターで印刷して郵送するか、役場でのお預かりにより提出できます。また、e-Taxを利用して送信することもできます。国税庁ホームページ：<http://www.nta.go.jp>

▷申告に関するお問い合わせ先

 魚津税務署
  0765・24・1370

 税務課住民税係
  462・9952

たまえ あきな
玉榮 明奈さん（新瀬戸）

温かい立山町の方々とともに
初めての農業を楽しみたい



自己紹介や日々の活動などについて、SNS（インターネット交流サイト）の「農業女子日記」で発信中。（下記 URL 参照）
<http://harusajyoshi.blog.fc2.com/>

立山町に移住し女性の感性で町農業の活性化を図るため、昨年から募集を行っていた「農業女子」。その第一号として採用されたのが、沖縄県うるま市出身の玉榮明奈さんです。

山に興味があつた玉榮さんは、4年前から立山町の山小屋でアルバイトをしていました。

「昔から農業に興味はあつたけど、始めるきっかけや環境がありませんでした」と話す玉榮さん。そんな職場の同僚から、立山町で農業女子を募集している話を聞きます。すぐに情報を集め、翌日には応募していました。

前例がないうえに、慣れない土地で行う初めての農業。気おくれすることなく積極的に挑戦できる理由になると、たとえ環境を変えることになっても興味があることには全力で取り組んできた経験と、町民の温かい人柄が好きだからだと話してくれました。

今後は、農業女子として地域の方との交流や、来年度から始まる1年間の研修で農業を学びながら、東谷地区で農作物などの栽培、SNSによる情報発信などを行っていく予定です。

これからの抱負について聞くと「地域の方々の力をかりながら、楽しく農業ができればいいと思っています」と笑顔で話しました。



ぶらりライブラリ

図書館 おすすめの一冊

和楽ムック 北斎の衝撃（小学館）

日本が生んだ孤高の天才絵師「葛飾北斎」。逆巻く白波の彼方に富士山を望む「神奈川冲浪裏」は、作者やタイトルは知らなくとも、日本人なら一度は目にしたことがあるのではないのでしょうか。

そんな日本文化のシンボルのような北斎ですが、海外からも高く評価されています。ゴッホやモネといった巨匠に影響を与えただけでなく、アメリカの雑誌では「この1000年で最も偉大な功績を上げた世界の100人」に日本人として唯一選ばれています。

本書では、北斎の代表作を掲載するだけでなく、海外名画との対決・比較など、様々な切り口で世界に与えた「衝撃」の全てが紹介されています。

昨年末に「すみだ北斎美術館」がオープンし、今年はますます北斎に注目が集まりそう。北斎が巻き起こした芸術の波は、今もなお飛沫をあげています。

このほかに、原寸大の北斎版画を収録した「北斎原寸美術館 100% Hokusai!」もおすすめです。



新しく入った本

★は児童書

- ◆ 図解 働き方 [稲盛和夫]
- ◆ 雪と氷の疑問 60 [公益社団法人日本雪氷学会]
- ◆ はじめての水引アレンジ [長浦ちえ]
- ◆ 剪定「コツ」の科学 [上条祐一郎]
- ◆ レゴすごいアイデア [ダニエル・リプコーウィッツ]
- ◆ 闇の平蔵 [逢坂剛]
- ◆ 女王さまの夜食カフェ [古内一絵]
- ★ 青空のかけら [S・E・デュラント]
- ★ とりかえっこ とりかえっこ [ふくだじゅんこ]
- ★ まちではたらくくるま [こわせもりやす]

1月7日は「お正月あそび」

図書館では、かるた、すごろく、福笑いなどで遊ぶ「冬休み子ども会」を開催します。お気軽にお越しください。

日時 1月7日(出)10時半～12時
場所 図書館2階 児童室

立山図書館（元気交流ステーション1階）
☎ 463-0634 開館時間／9時半～19時